



平和首長会議ニュース

2020年9月 / 第129号

平和首長会議加盟都市数

164 か国・地域 7,956 自治体

**加盟都市数 10,000 都市を
目指しています！**

日本国内加盟自治体数：1,733

(2020年9月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

🌐 ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

📘 フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

🐦 ツイッター:

<https://twitter.com/Mayors4Peace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆未加盟都市への呼び掛けに関する好事例を紹介します！
- ◆子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト 2020 の作品を募集しています！
- ◆国際平和デー(9月21日)記念行事を開催しましょう！
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 164 か国・地域 7,956 自治体
- ◆「ヒロシマ平和行政実務者研修」(来年1月)の参加者を募集します
- ◆平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆2020年8月の平和首長会議会長訪問
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について

■未加盟都市への呼び掛けに関する好事例を紹介します！

平和首長会議では、「核兵器のない世界」の実現に向けた更なる国際世論の醸成・拡大を目的に、10,000都市加盟を目指しています。

加盟拡大をより一層推進するため、今月からメールマガジンで、加盟都市が呼び掛けを行ったことにより多くの加盟につながった好事例を紹介します。

◆ベルギー・イーペル市の報告(報告者:フリリップ・デヒージャー氏 イーペル市職員)

平和首長会議ベルギー支部のリーダー都市であるイーペル市のエミリー・タルペ市長が、同国内の平和首長会議のネットワークを拡大するため、ベルギー国内全ての未加盟都市に対し、加盟要請書簡を送ったところ、9月1日までに新たに19都市が平和首長会議に加盟する運びとなりました。

これにより、9月1日現在、ベルギー国内581都市のうち2/3以上を占める393都市が平和首長会議の加盟都市となりました。この働き掛けにより、今後もベルギーから更に加盟があると予想されます。

本コーナーで紹介する事例を参考に、同国内の未加盟都市や姉妹・友好都市等交流関係のある未加盟都市に是非加盟の働き掛けをお願いします。呼び掛けの際にご活用いただける加盟要請書類(10か国語)は以下からダウンロードできます。

▼加盟要請書類一式

URL: <http://www.mayorsforpeace.org/jp/outlines/join.html#section01>

事務局では、未加盟都市への呼び掛けに関する好事例を随時募集します。他都市の参考になるよう、メールマガジンでご紹介しますので、皆さまからの情報提供をお待ちしております。

=====
■子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト 2020 の作品を募集しています！
=====

平和首長会議では、行動計画(2017年-2020年)に重点取組事項として掲げた「次代を担う若い世代の意識啓発を目指す平和教育の実施」の一環として、全加盟都市の子どもたちを対象とした“平和なまち”絵画コンテスト 2020 を実施し、参加作品を募集しています。

- 募集部門：①「6歳～10歳の部」②「11歳～15歳の部」
- 応募点数：1都市につき各部門5作品まで

▼絵画コンテストの詳細については、平和首長会議ウェブサイトをご確認ください。
http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort/2020_Art_Competition.html

▼作品提出・問い合わせ先：
Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

◎提出期限：令和2年(2020年)11月20日(金)
多くの加盟都市からの作品をお待ちしています。

なお、本絵画コンテストに向けて加盟都市が予選会等独自のイベントを開催している事例を紹介し
ます。今後の本コンテストへの参加促進に向け、参考にしてください。

●各加盟都市における取組

◀調布市(東京都)▶

調布市では、本年は、平和首長会議加盟10周年であるとともに、「調布市国際交流平和都市宣言30周年」の節目の年です。

そうした中、30周年記念事業として、平和首長会議の絵画コンテストへ出展する作品を選定するとともに、対象年齢を拡大した部門(親子で参加！3歳～5歳の部)を新たに設け、作品の表彰を行うなど、市独自の取組を加えて「調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト2020」を実施することにしました。8月1日から9日まで開催した「原爆展」で、7月の第一次締切までに集まった子どもたちの絵70点を展示しました。作品は引き続き、最終締切の10月まで募集しています。

今後、市が選定する受賞作品をデザインとして市の平和祈念の取組の周知・啓発に活用していくことを考えています。また、集まった全ての作品と、世界中から寄せられた作品の合同展示を2021年3月に実施予定です。

これからの世代を担う子どもたちの作品はどれもいきいきとしており、世界の子どものそれぞれの平和への想いに触れられる取組につなげていきたいです。(調布市文化生涯学習課)



▼「国際交流平和都市宣言30周年記念事業 調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト2020」(調布市ウェブサイト)
<https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1561531986357/index.html>

《浦安市(千葉県)》

浦安市では、次代を担う若い世代を中心に平和に対する意識を高めてもらうことを目的に、市内在住の小・中学生を対象とした「“平和なまち”絵画コンテスト」の募集を実施しています。

絵画コンテストは、今年度初めての取組でしたが、募集チラシを全市立小・中学生等に配布したこともあり、8月の募集開始からまだ1か月余りですが、すでに50作品以上の応募が届いています。

応募いただいた全作品は、今後、市のホームページで掲載していきますので、ぜひご覧ください。

また、浦安市における入賞作品6点は、今後、平和事業の啓発イベント等で配布する啓発グッズや小・中学校で配布する平和カレンダーに印刷して活用していきます。

なお、浦安市で選定した10作品については、平和首長会議が開催する絵画コンテストに応募します。(浦安市地域振興課)



▼「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト 2020 作品募集」(浦安市ウェブサイト)

<http://www.city.urayasu.lg.jp/shogaigakushu/koryu/1010706/1029671.html>

■国際平和デー(9月21日)記念行事を開催しましょう!

国連では、毎年9月21日を「国際平和デー」と定め、世界中の停戦と非暴力の日としてこの日一日敵対行為をやめるよう呼び掛けています。今年の「国際平和デー」のテーマは「一緒に平和をつくろう(Shaping Peace Together)」です。

平和首長会議も「国際平和デー」の理念に賛同し、これまで世界各地に記念行事開催の呼び掛けを行ってきました。各加盟自治体においても、こうした趣旨をご理解いただき、2020年の国際平和デー記念行事を開催して下さるようお願いいたします。

▼International Day of Peace 21 September(英語)(国連ウェブサイト):

<https://www.un.org/en/observances/international-day-peace>

▼昨年広島市等で開催された「国際平和デー」記念行事の様子(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/190921_news.html

* 貴自治体で開催する「国際平和デー」記念行事の内容について、次のメールアドレスまでご一報ください。平和首長会議ウェブサイト等でご紹介いたします。

Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

=====
■加盟都市の活動紹介
=====

千葉県浦安市

浦安市では、毎年長崎から語り部を招へいし、市民向けに被爆体験講話を行っています。今年も新型コロナウイルス感染予防のため、「YouTube」により「長崎の語り部による被爆体験講話」及び「平和を語る会」を配信しました。ぜひ、ご覧ください。



▼動画(YouTube)

https://www.youtube.com/watch?v=cFLx0_BwYos



(写真提供: 浦安市)

動画の内容(約 75 分)

①長崎の語り部による被爆体験講話 語り部: 田川 博康 氏

②平和を語る会

出演: 浦安被爆者つくりの会 会長 宇田川太江子 氏(コーディネーター)

長崎語り部 田川 博康 氏

浦安市平和使節団(平和学習のため、長崎に派遣された中学生)OB・OG

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議事務局では、行動計画(2017 年-2020 年)に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介します。行事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼平和首長会議行動計画に基づく都市別の取組実施都市等一覧(海外・8 月分):

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/04_list_of_activities/monthly/2020_August_List_of_Activities_jp.pdf

=====
■平和首長会議加盟自治体数: 164 国・地域 7,956 自治体
 =====

9月1日付で、36自治体が加盟し、加盟自治体数は7,956となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国名	新規加盟 都市数	合計	備考
ヨルダン	5	11	アンナーブ駐日大使及び同国外務省等の呼び掛けにより加盟。
ベルギー	18	393	副会長都市及びリーダー都市のイーペル市の呼び掛けにより加盟。
ドイツ	11	696	副会長都市及びリーダー都市のハノーバー市の呼び掛けにより加盟。
英国	1	82	現地平和団体の呼び掛けにより加盟。
オランダ	1	158	同国内の加盟都市の呼び掛けにより加盟。

▼9月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2020/newmembers2009_jp.pdf

▼加盟都市数一覧(国・地域別)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly Updating/07_membership_by_country_jp.pdf

=====
■「ヒロシマ平和行政実務者研修」(来年1月)の参加者を募集します
—必要経費(旅費・宿泊費)の一部を支援—
 =====

平和首長会議では、「広島・長崎への受け入れを組み込んだ青少年『平和と交流』支援事業」の一環として、来年1月の2日間、「ヒロシマ平和行政実務者研修」を実施します。平和首長会議国内加盟都市の若手職員に広島において、被爆の実相と被爆者の思いを理解してもらい、その経験を基に、所属自治体での平和への取組を推進してもらうことを目的とした研修で、参加者に対し、必要な経費の一部を支援します。応募条件、支援内容等、詳しくは募集要項をご覧ください。

- 実施日: 令和3年(2021年)1月21日(木)、22日(金)
- 内容: 被爆の実相の学習、平和推進事業の企画立案等
- 募集人員: 10名

▼募集要項(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/data/01_HPS_2020_Program.pdf

▼申込期限:

令和2年(2020年)11月24日(火)

※昨年度の実施については平和首長会議のホームページに掲載しています。

http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort/2019_HPS_result.html

▼問合せ先:

平和首長会議事務局

Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

TEL:082-242-8872 FAX: 082-242-7452



=====
■平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
=====

2017年8月に長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の推進にご協力ください。

▼「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th_meeting/Action_Plan_2017-2020_J.pdf



なお、2019年11月、ハノーバー市において開催された第11回平和首長会議理事会において、2020ビジョンの最終年である2020年に、行動計画に掲げている以下の3項目に重点的に取り組んでいくことが決定されています。

- ① 「核兵器禁止条約」の発効等の平和首長会議の目標の達成に向けた加盟都市の拡大
→具体的な取組については[こちら](#)
- ② 次代を担う若い世代の意識啓発を目指す平和教育の実施
→具体的な取組については[こちら](#)
- ③ 広島・長崎への受け入れを組み込んだ青少年「平和と交流」支援事業等の充実
→具体的な取組については[こちら](#)

=====
■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
=====

平和首長会議事務局では、自治体、学校、NGO等、様々な実施主体による平和教育の取組事例を「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していくため、各加盟都市において実施されている平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています。

これまでにお寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

▼平和を希求する心を育てる取組の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section10>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。いただいた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

TEL:082-242-8872 FAX:082-242-7452

=====
■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
=====

平和首長会議では、第 9 回総会において策定された行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書を E メール又は FAX にて事務局までお送りください。

※この事業は、通年でやっているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の苗木の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

▼TEL: 082-242-8872 FAX: 082-242-7452

▼被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section04>



=====
■2020 年 8 月の平和首長会議会長訪問
=====

松井一寛広島市長・平和首長会議会長は、先月、次のような海外からの来訪者をお迎えしました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

- * 8 月 5 日 (水) マルチン・トムチョ 駐日チェコ共和国特命全権大使
- * 8 月 5 日 (水) ルスラン・イエシシ 駐日ベラルーシ共和国特命全権大使
- * 8 月 5 日 (水) 中満 泉 国際連合事務次長兼軍縮担当上級代表
- * 8 月 5 日 (水) ダンバダルジャー・バッチャルガル 駐日モンゴル国特命全権大使
- * 8 月 6 日 (木) レオン・マラゾーグ 駐日コソボ共和国特命全権大使
- * 8 月 6 日 (木) パトリシア・フロア 駐日欧州連合代表部代表・駐日欧州連合特命全権大使
- * 8 月 6 日 (木) ミゲル・アンヘル・ラミレス・ラモス 駐日キューバ共和国特命全権大使
- * 8 月 7 日 (金) セサル・フェレル 駐日ウルグアイ東方共和国特命全権大使

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース (連載第 71 回)
=====

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

広島市の市民団体「ヒロシマ・フィールドワーク実行委員会」は、市中心部の戦前の姿を細密に描いた鉛筆画集「消えた町 記憶をたどり」の英訳版を出版しました。日本語版を 2011 年に自費出版しており、さらにフランス語や韓国・朝鮮語など 4 言語に翻訳する計画もあるということです。

現在の中区大手町で育ち家族 5 人を失った被爆者の森富茂雄さん(91)＝西区＝が、記憶を基に県産業奨励館(現原爆ドーム)周辺などの町並みを描いた 46 点を収録しています。広島大平和センターのファン・デル・ドゥース・瑠璃准教授が英訳を手がけ、絵の中に書き込まれた商店名なども全て詳細に訳しています。平和記念公園(中区)の被爆建物レストハウスなどで販売しています。

緑豊かな平和記念公園と、すっかり復興しビルが建ち並ぶその周辺は、かつて賑やかな生活の場でしたが、その当時の記憶を持つ人は年々少なくなっています。たった一発の原爆で瞬時に壊滅した街について、絵や写真、文章などを通して次世代に伝えることは、「こんなににむごい被害を市民に与えるようなことが、二度とあってはならない」という警告でもあります。写真としては、中国新聞ヒロシマ平和メディアセンターのウェブサイト「ヒロシマの空白 街並み再現」に、原爆が落とされる前日までの広島市街の写真が 1000 枚以上、グーグルマップ上に配置されています。ぜひご覧ください。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○日本被団協にマスク 韓国原爆被害者協会 1万2000枚「苦しみ分かち合う」
<http://www.hiroshimapecacemedia.jp/?p=100673>

○教員被爆手記 平和教材に 故尾形さん 深い傷負いながらも教育に情熱
<http://www.hiroshimapecacemedia.jp/?p=100632>

○原爆資料館 ネット予約開始 1日以降の見学 団体客予定に配慮
<http://www.hiroshimapecacemedia.jp/?p=100591>

○原爆で「消えた町」世界へ 市民団体 鉛筆画集の英訳出版
<http://www.hiroshimapecacemedia.jp/?p=100580>

○米真珠湾で初の原爆展 核廃絶へ広島市など主催
<http://www.hiroshimapecacemedia.jp/?p=100485>

○被爆75年 広島のを映す HIPPIYさんらが動画 景色・証言・歌 8言語で発信
<http://www.hiroshimapecacemedia.jp/?p=100488>

=====
■「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に基づき、「幅広い層の市民の平和意識の啓発」を目的として『ヒバクシャ国際署名』と連携した『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名活動を展開しています。

平和首長会議に寄せられた『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名と、『ヒバクシャ国際署名』で集められた署名を共に国連関係者に提出することとしています。

▼ヒバクシャ国際署名ウェブサイト:



*** 本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください ***

平和首長会議事務局


〒730-0811 広島市中区中島町 1-5

(公財)広島平和文化センター 平和首長会議・2020ビジョン推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈ツイッター〉 

<https://twitter.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉 

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！